

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
プロダクトデザイン実習 1											
対象	2 年次	開講期		区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	
担当教員	明石 竜太郎			実務 経験	有	職種	陶芸家				
授業概要											
この科目を受講する学生は、工業製品の商品企画を行い、技術とノウハウを修得します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つプロダクトデザインの基礎的な実習から学び、素材、道具の正しい選び方、使い方を理解し、アイデア提案力を身に着けるようになる。プロダクトデザインの「商品企画」に関連するプロセスを理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのがねらいである。											
到達目標											
基礎から専門へ移行していく学生が、商品企画に取組むことでプロダクトデザインをプロセスから学び、アイデアスケッチ・立体モデルの制作・図案の作成・提案モデルの制作・モデルの撮影・プレゼンボード制作・プレゼンテーションと提案型デザイン手法で、検証を重ねながら試作を制作し、プロダクトデザイナーの仕事を理解して、デザインの現場で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的に 素材 の選択、サイズの決定、カラーの選択、使用環境の選択を考慮して、商品提案ができるようになることを目標にしている。											
授業方法											
この授業では、出題される課題のテーマを講師からの解説を受けます。素材の特性、道具の使い方、デザインの適正を理解し、企画提案する実習授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「工業デザインの企画提案力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デザイン提案」を自分自身の実践し、プレゼンテーションできるようになることを目指す。											
成績評価方法											
プレゼン 課題完成度 リサーチ 平常点	20% 40% 20% 20%	製作物の発表方法、内容 クオリティ・提出期限厳守 製作準備と過程 積極的姿勢・周囲のサポート									
履修上の注意											
この授業では、学生に、実際にプロダクトデザインの企画提案をしてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。今後、現場で求められる専門的な知識と技術の修得を考えた前段階の実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない											
教科書教材											
必要な資料は授業にて配布を行う											
回数	授業計画										
第1回	アクセサリーのデザイン実習 1 前例の紹介 コンセプト立案										
第2回	アクセサリーのデザイン実習 2 幾何形態を理解し描く										
第3回	アクセサリーのデザイン実習 3 幾何形態を理解し描く										
第4回	アクセサリーのデザイン実習 4 素材を選び、図面・スケッチ製作										
第5回	アクセサリーのデザイン実習 5 素材を選び、図面・スケッチ製作										
第6回	アクセサリーのデザイン実習 6 素材を選び、図面・スケッチ製作										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
プロダクトデザイン実習 1	
第7回	アクセサリーのデザイン実習7 アクセサリー製作
第8回	アクセサリーのデザイン実習8 アクセサリー製作
第9回	アクセサリーのデザイン実習9 アクセサリー製作
第10回	アクセサリーのデザイン実習10 アクセサリー製作
第11回	アクセサリーのデザイン実習11 アクセサリー製作
第12回	アクセサリーのデザイン実習12 写真撮影
第13回	アクセサリーのデザイン実習13 タグ・パッケージをデザインする
第14回	アクセサリーのデザイン実習14 商品の撮影をする プレゼンボード作成
第15回	作品批評